

平成27年度 桜川市決算報告

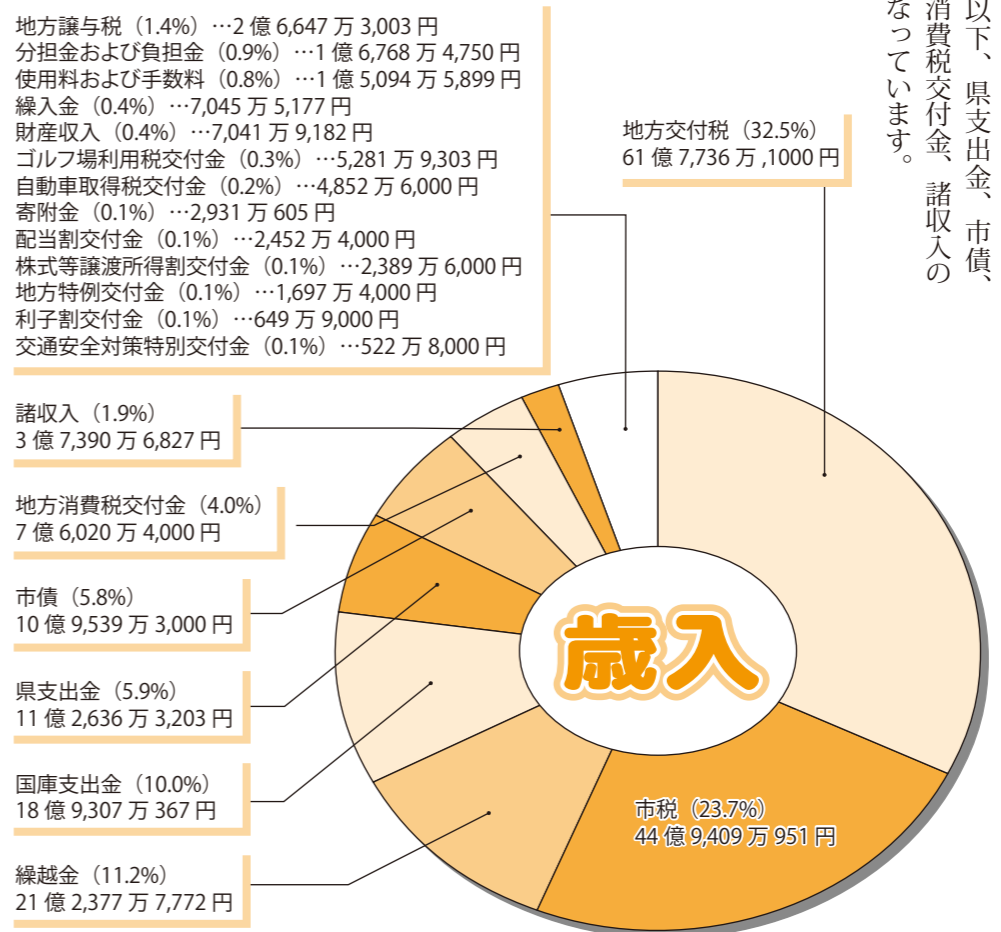
一般会計・歳入の内訳

189億7,792万2,039円

歳入は、市の財源として入ってくるお金です。その決算額は189億7,792万2,039円。グラフ1（下・円グラフ）は、その内訳を表したものです。所得税・消費税などの国税の一部を国から交付された地方交付税が約32.5%を占めています。次いで、市民の皆さんに納めていただいた市民税などの市税が約23.7%。続いて、繰越金が約11.2%。児童手当負担金、生活支援や公共施設改修など特定事業に対する国から支出された国庫支出金が約10%となっています。

す。以下、県支出金、市債、地方消費税交付金、諸収入の順になっています。

(グラフ1)



歳入・歳出総額

区分	歳入	歳出
一般会計	189億7,792万2,039円	174億7,441万6,612円
特別会計	国民健康保険	68億1,734万2,195円
	農業集落排水事業	3億7,663万1,840円
	公共下水道事業	6億9,420万162円
	介護保険	37億4,999万7,344円
	介護サービス事業	897万7,594円
	後期高齢者医療	3億4,693万1,975円
合計	315億2,492万7円	294億6,849万7,722円

平成27年度の一般会計・特別会計および企業会計が、平成28年第3回桜川市議会定例会で承認されました。市政の中心、一般会計の歳入決算額が189億7,792万2,039円、歳出決算額が174億7,441万6,612円となりました。今月号で、その決算概要についてお知らせします。

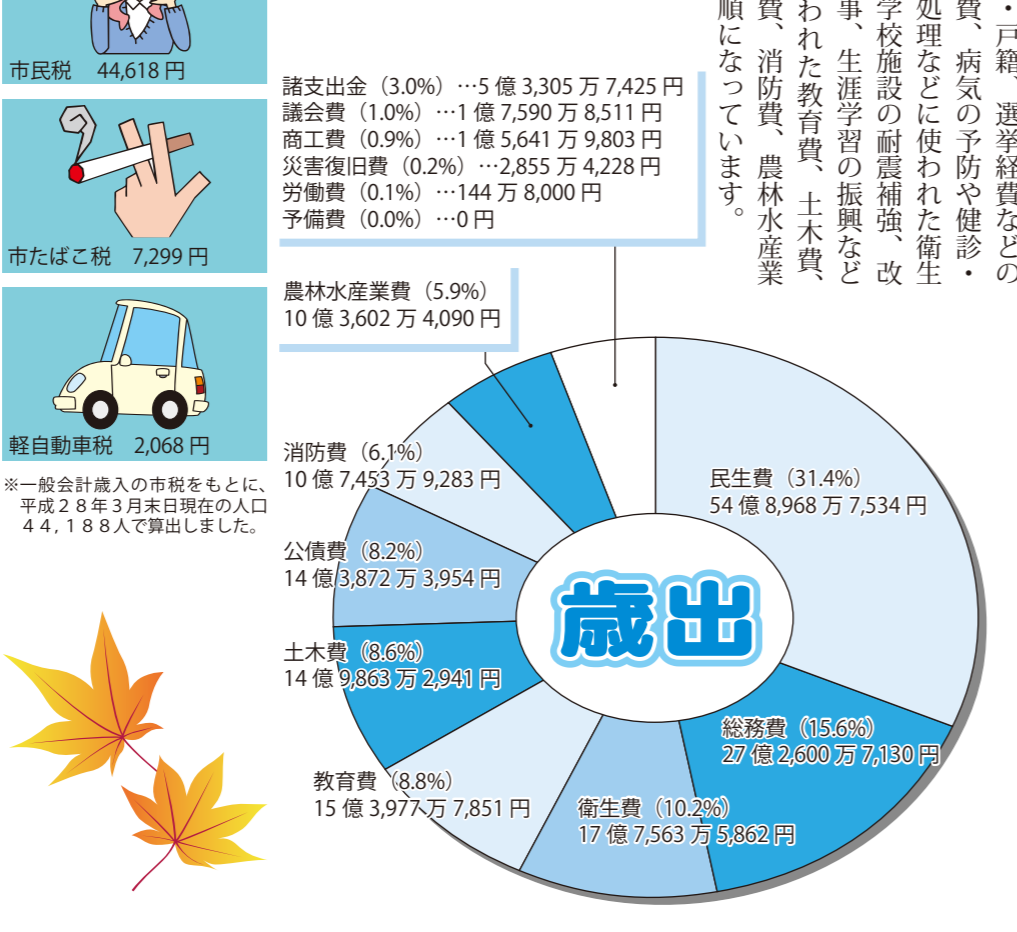
一般会計・歳出の内訳

174億7,441万6,612円

歳出は、市民の皆さんのために使われるお金です。その決算額は174億7,441万6,612円。グラフ2（下・円グラフ）は、歳出を目的別に表したものです。児童やお年寄り、身体の不自由な方などのために使われた民生費が最も多く、次いで庁舎管理や庁舎内電算システム運用、デマンド交通運営

徴税・戸籍、選挙経費などの総務費、病気の予防や健診・ごみ処理などに使われた衛生費、学校施設の耐震補強、改修工事、生涯学習の振興などに使われた教育費、土木費、公債費、消費税、農林水産業費の順になっています。

(グラフ2)



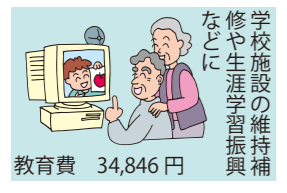
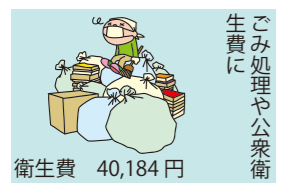
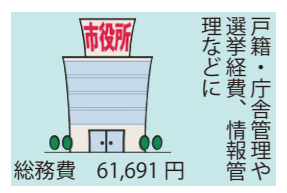
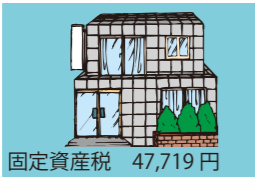
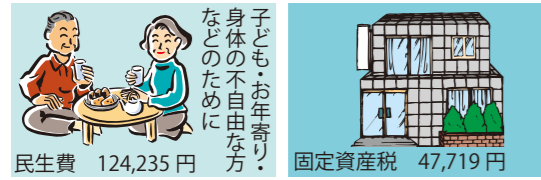
※一般会計歳入の市税をもとに、平成28年3月末日現在の人口44,188人で算出しました。

水道事業会計決算

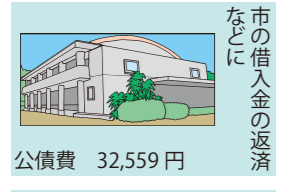
区分	収入	支出
収益的事業 水道料金による収入と、水を作ったり家庭に送ったりするための維持管理などを中心とした営業活動の収支	10億23万643円	9億6,685万8,646円
資本的事業 古くなった水道施設の改良や、新しい施設を造るために必要な資金の収支	3,540万1,400円	2億5,726万4,697円

市民一人あたりでは

使われたお金 395,456円
納めていただいた市税 101,704円



※一般会計歳入の市税をもとに、平成28年3月末日現在の人口44,188人で算出しました。



※一般会計歳出をもとに、平成28年3月末日現在の人口44,188人で算出しました。